

# アフリカ国際協力の現場から ～南スーダンの挑戦～



JICA 南スーダン事務所  
個別専門家 池内千草

## 南スーダン共和国

2011年7月

南スーダン共和国 独立

2013年12月

キール大統領勢力vs. マンチャール前副大統領勢力間権力闘争激化→多くの難民が発生

2015年8月 衝突解決合意

2016年秋

キール大統領派とマンチャール第一副大統領派（反主流派）が衝突

\*南スーダンにおける武力闘争は、政治的勢力争いだけでなく、部族間対立など複数の要因による

## 南スーダンにおけるGBV問題

### 長く続く武力紛争下におけるGBV

- 兵士による性的な攻撃の対象となる
- 部族間の牛強奪等の衝突時、女性や子どもが暴力や性的な攻撃の対象となる



### 平時におけるGBV

- 近親者間暴力（IPV）(50%) \*
- 児童婚（52%） \*\*
- 強制結婚
- 慣習法に基づいた女性の資産の所有・相続→女性に不利な決定
- レイプ
- ジェンダー規範が厳しく、女性の役割が固定化している

\* UNICEF (2019)

\*\* UNICEF(2018)

## 政府によるGBV対策

### 目標の設定

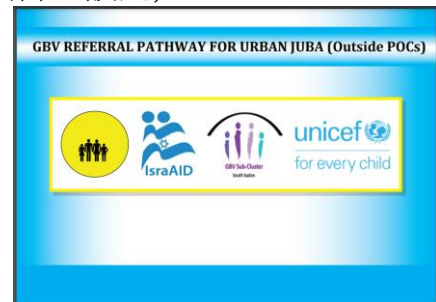
- 政府、UN機関、NGO等と協働し、「2030年までに児童婚を撤廃する」目標を掲げている

### 法整備

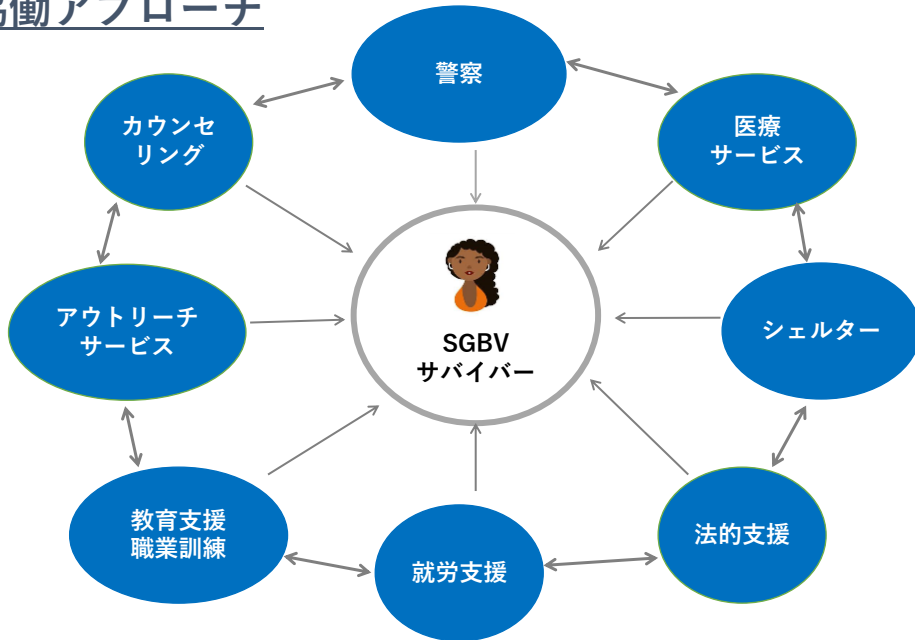
- GBV法の制定（2022年施行予定）
- マプト議定書（2016年条件付き批准）

### 対応システムの設置

- GBV裁判所、移動裁判所の設置
- 警察に特別保護ユニットを設置
- ワン・ストップ・センターを全国に設置
- リファール体制の設置（標準手順書の設定）



## 他分野協働アプローチ



## GBV対策の問題点

### 被害報告のギャップ

- ステイグマ
- 根強い村意識→村内で解決



### 対応システムにおけるギャップ

- レファラル・パスウェイの維持管理
- 保護サービスへのアクセス
- シェルターの未整備
- GBVデータの未整備

### 人材

- 政府職員のマチベーション
- 警察などサービス提供者のGBVへの理解

### 支援の潮流

- 中・長期的視野に立った支援の必要性  
(緊急支援中心)



## JICAの取り組み

GBVサバイバー及び被害に脆弱な女性たちの経済的な自立と社会復帰の促進



事業実施期間: 2021年9月～2023年9月

目的: GBVサバイバーと暴力に脆弱な女性の経済的自立、社会復帰の促進

政府職員や現地サービス提供者に対する  
GBVの啓発

GBVの要因と  
その影響

各省庁の  
責任と役割

GBV啓発  
セッション

法的枠組み

被害者の  
リファラル  
(標準手順書)

NGOや民間団体と共  
にパイロット活動の  
実施



パイロット活動から  
好事例・教訓が収集



関係者とのネット  
ワークの構築  
好事例・教訓など  
の共有

